

よいことの Weekly Report

ために 2025-2026

手を取りあおう



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム	第2659回	3月6日
米山奨学生叶娟娟さん送別会		
担当者	米山奨学委員会・親睦活動委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2658回	2月27日
新入会員卓話：木村年克会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

皆さんこんにちは。
すでにメールで皆さんご存じでしょうが住谷会員が2028-2029年度のガバナーに選出されました。大変名誉なことですが我がクラブの60周年にあたる年でもあり同時に大変なことでもあります。会員増強や他クラブへの協力依頼等これからご協力お願いします。それでは最後までよろしくお願いします。

堀井幹事報告

回覧 ・当クラブの住谷幸伸会員が2028-2029年度のガバナーに選出された旨の決定宣言が2670地区ガバナー事務所から届きましたので、回覧に回します。
案内 ・ロータリーの友が届いておりますので、御確認ください。

メイクアップ

2月15日 PETS 藤田
2月24日 高松東RC 五ノ坪
2月24日 高松中央RC 江島
2月25日 高松南RC 磯崎

講話のまとめ

1. 木村さんが最も伝えたいことは、「地域との密着」と「地域と連携して価値が循環するビジネスモデル(エコシステム)の構築」です [1, 2]。
2. 穴吹グループは60社・従業員1万500名という規模感を持ち、マンション事業だけでなく多角的な事業を展開して地域の人々の役に立つ世界観を目指しています [3, 4]。
3. 地域密着を重視する理由は、地域でシェアを伸ばし必要とされることで確立したモデルが、日本中ひいては世界中のどこでも通用する強力なビジネスモデルになるからです [2]。

出席報告

出席委員長：大西一正

会員数 /	43名	出席規準数 /	39名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	14名
出席率 /	64.10%	ビジター /	0名
最終出席率 /	2月6日	68.29% →	73.17%

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

3月6日 今日は何の日	今日生まれの有名人
啓蟄/スポーツ新聞の日/弟の日/世界一周記念日	1987年 松下洗平 1962年 柳沢慎吾
1972年 新日本プロレス旗揚げ	1984年 ベッキー 1955年 春風亭小朝
1994年 新横浜ラーメン博物館が開館	1963年 重松清 1949年 高橋真梨子
誕生花	「アネモネ」花言葉は「はかない恋・恋の苦しみ・見捨てられた」
誕生石	「アイオライト」宝石言葉は「誠実・徳望・鎮静」

それこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それこそ ローローロータリー



ニコニコBOX	
木村さん卓話ありがとうございます。	堀井
何かの？バッチをいただきました。	加藤
妻への誕生日プレゼントありがとうございます。	大森
3/22CLLS参加の委員の方々、御協力ありがとうございます。楽しみです。	藤田
遅刻	1件
合計 5 件	
本 日 の 合 計	21,500 円
2025-2026 年 度 累 計	556,000 円

3 月誕生日の樹	
7 日 低 田 陽 介 会 員	ジンチョウゲ(沈丁花)
10 日 遠 藤 直 樹 会 員	アケビ(木通)
18 日 松 宮 直 輝 会 員	ヒュウガミズウキ(日向水木)
記念樹	－記念日と誕生日365日の+1の樹－ 財団法人経済調査会発行より

2026-27年度 R I テーマ



私たちのメッセージ

オンラインカ H. パパロラRI会長エレクト
2026-27年度 国際ロータリー (RI) 会長

年次会長メッセージは、説得力のあるロータリーのストーリーを一貫した方法で伝えるための強力な手段です。ロータリーの行動計画に沿ったメッセージを使うことで、ロータリーと共に行動を起こすことへのインスピレーションを人びとに与えることができます。

2026-27年度のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」は、行動人としてロータリー会員が協力し、地元や海外の地域社会で有意義な変化をもたらしていくことを奨励しています。これは、2025-26年度のメッセージである「よいことのために手を取りあおう」を実現するために会員が互いに、また地域社会との結びつきを強めてきたことを土台としています。「持続可能なインパクトを生み出そう」は、こうしたつながりを活かし、会員、参加者、市民が、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化をもたらすための協働を鼓舞するメッセージです。

ロータリーを通じて会員が持続的な変化を生み出していることを世界に伝えるため、奉仕活動や地域社会でのそのほかの取り組みを通じてクラブがもたらすインパクトを示す情報を集め、ストーリーを広めることができます。「個人的見解：ロータリーの価値」シリーズの動画を共有するのも優れた方法となります。これらの短い動画は、ロータリーが世界で、そして会員の人生においていかに前向きな変化を生み出しているかを紹介しています。



2 月 28 日 米山記念奨学生の修了式及び歓送会



ロータリー特別月間（3月）

水と衛生月間 (Water and Sanitation Month)

2014年10月RI理事会は、3月を重点分野：「水と衛生月間」とした。地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。



次週のプログラム	第 2660 回	3 月 13 日
新入会員卓話：滝一孝会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松